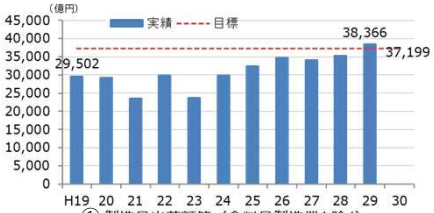
＜宮城県総合計画審議会＞

宮城の将来ビジョン・宮城県震災復興計画の取組の成果【概要版】

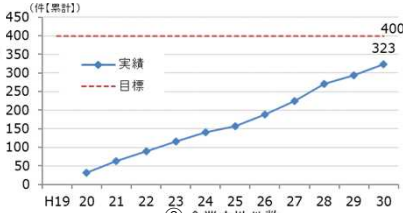
資料１－１

【宮城の将来ビジョン】政策推進の基本方向１　富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

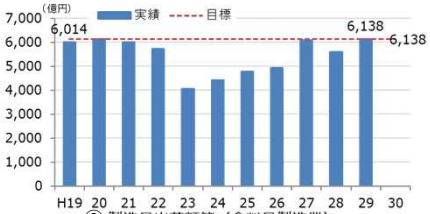
○ 製造品出荷額等（食料品製造業を除く）は震災等の影響を受けながらも順調に増加し，H29に目標値を越えた。また，企業立地件数も順調に増加している。
○ 農林水産業や食料品製造業の生産・出荷額は震災で落ち込んだものの，近年は震災前水準まで回復しつつある。
○ 震災で落ち込んだ観光客入込数は，近年過去最高を記録するなど順調に増加しているものの，外国人旅行客宿泊数など，目標の達成に向け更なる取組が必要である。



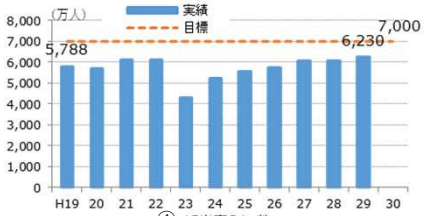
① 製造品出荷額等（食料品製造業を除く）



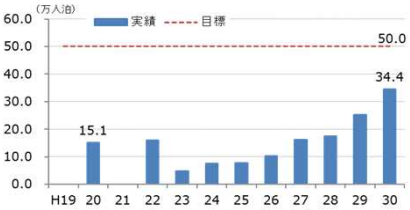
② 企業立地件数



③ 製造品出荷額等（食料品製造業）



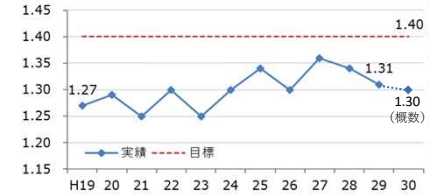
④ 観光客入込数



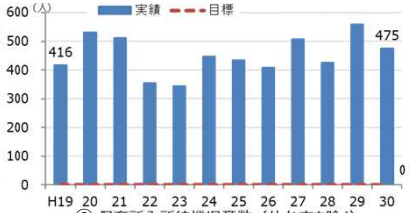
⑤外国人観光客延べ宿泊者数

【宮城の将来ビジョン】政策推進の基本方向２　安心と活力に満ちた地域社会づくり

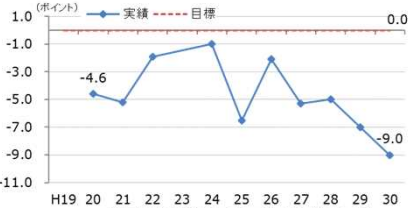
○ 合計特殊出生率の低下や待機児童数の高止まりが続くなど，出産・子育て環境を巡る状況は厳しい。
○ 児童生徒の学力，体力は全国水準より低い状況が続いており，教育環境のさらなる充実は喫緊の課題となっている。
○ 自治体病院等への医師の配置など，医療人材の確保・育成に取り組み，着実に成果を挙げている。



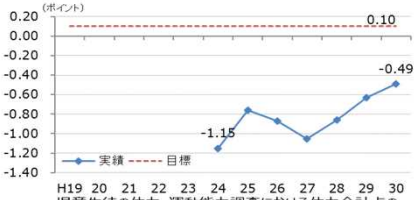
① 合計特殊出生率



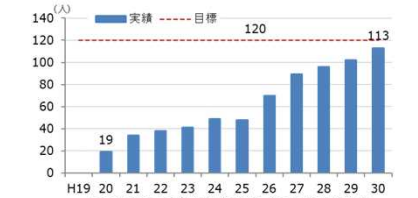
② 保育所入所待機児童数（仙台市を除く）



③ 全国平均正答率とのかい離（小学６年生）



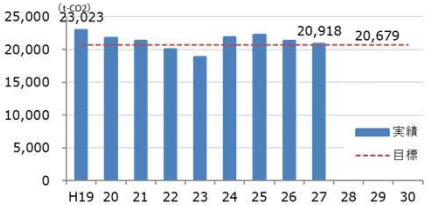
④ 児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離・小学校５年生(男)



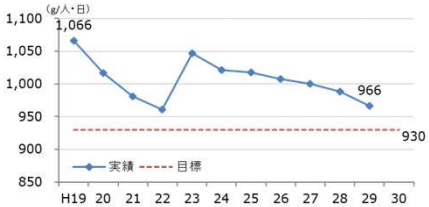
⑤ 県の施策による自治体病院等（県立病院を除く）への医師配置数

【宮城の将来ビジョン】政策推進の基本方向３　人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

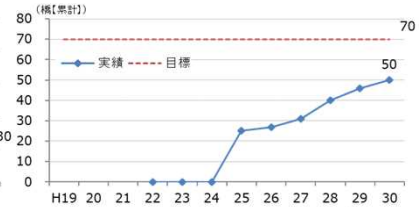
○ 温室効果ガスの排出量は震災後高止まりの状況にある。また，震災後に一度増加した一般廃棄物の１人当たり排出量は，減少傾向にある。
○ 防災面では，橋梁の耐震化や土砂災害警戒区域等の指定，防災リーダーの養成などハード・ソフト両面から対策を進め，着実に成果を挙げている。



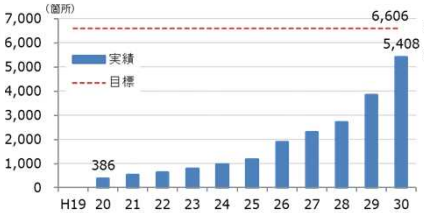
① 県内の温室効果ガス排出量



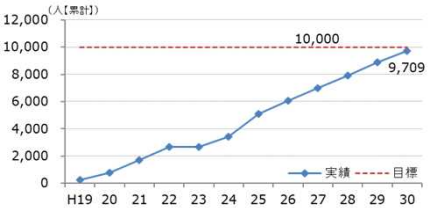
② 県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量



③主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数



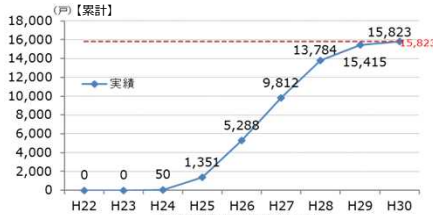
④土砂災害危険箇所におけるソフト対策実施箇所数



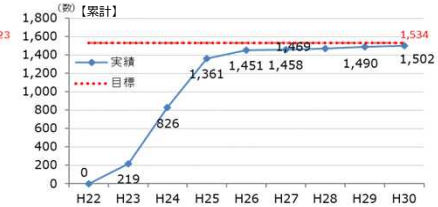
⑤防災リーダー（宮城県防災指導員等）養成者数

【宮城県震災復興計画】

○ 災害公営住宅の計画戸数全戸完成，公共土木施設災害復旧事業の完了実績，被災農地の復旧など着実にハード整備が進捗している。
○ 主要５漁港における水揚げ金額は，近年は震災前水準まで回復しつつあるが，水揚量の回復に向け，引き続き漁場環境の整備が必要である。
○ 仮設店舗から本設店舗への事業者移行率（%）は近年順調に推移しているが，まだ時間を要する状況である。

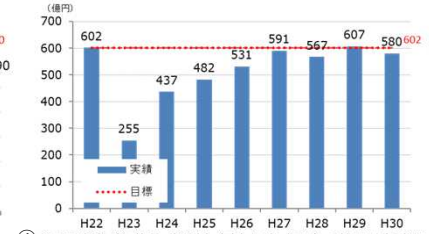


① 災害公営住宅の整備戸数

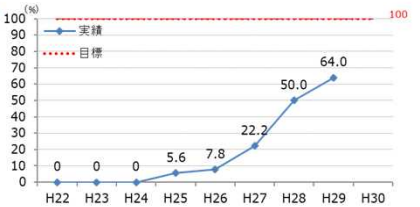


②公共土木施設災害復旧事業（道路・橋梁）の完了数

③ 津波被災農地の復旧面積



④主要５漁港（気仙沼・志津川・女川・石巻・塩釜）における水揚金額



⑤ 仮設店舗から本設店舗への事業者移行率